

■景観資源



- |  |   |   |
|--|---|---|
| <p>① 御前浜公園</p> <p>② 新西宮ヨットハーバー</p> <p>③ 西宮大橋周辺のマリナー</p> <p>④ 夙川河川敷緑地</p> <p>⑤ 西宮マリナパークシティを取り囲む樹林</p> <p>⑥ 西宮浜のサクラ並木</p> <p>⑦ 市役所前線のクスノキ並木</p> <p>⑧ 札場筋線のクスノキ並木</p> <p>⑨ 用海筋のケヤキ並木</p> <p>⑩ 海清寺の大クスなどの境内林</p> <p>⑪ 須佐之男神社の境内林</p> <p>⑫ 茂松禅寺の境内林</p> <p>⑬ 住吉神社の境内林</p> <p>⑭ 松原神社と喜多向稲荷社の境内林</p> <p>⑮ 稲荷大神のエノキ</p> <p>⑯ 浜脇小学校のクスノキ</p> <p>⑰ 勤労会館前のクスノキ</p> <p>⑱ 西宮神社の表大門・大練堀等の建造物と境内林</p> <p>⑲ 西宮砲台</p> <p>⑳ 旧辰馬喜十郎住宅</p> | <p>㉑ 宮水井戸場</p> <p>㉒ 旧多聞ビルディング</p> <p>㉓ 大手前大学の校舎郡と樹林</p> <p>㉔ 西宮市大谷記念美術館</p> <p>㉕ 西宮市貝類館</p> <p>㉖ 辰馬考古資料館</p> <p>㉗ 白鷹緑水苑と白鷹集古館 (景観賞)</p> <p>㉘ 白鹿記念酒造博物館 (景観賞)</p> <p>㉙ アンリシャルパンティエ・ハーバースタジオ43 (景観賞)</p> <p>㉚ 西宮聖ペテロ教会聖堂 (景観賞)</p> <p>㉛ 西宮大橋の東側眺望コーナーから西宮港大橋と甲子園浜方面への眺望</p> <p>㉜ 西宮大橋の西側眺望コーナーから六甲山系を背景とした市街地と御前浜への眺望</p> <p>㉝ 西宮浜総合公園の視点場からの眺望</p> <p>㉞ 阪神高速湾岸線側道(西宮浜・甲子園浜間)から六甲山系を背にした市街地への眺望</p> <p>㉟ 浜夙川橋から夙川のマツ・サクラ並木と甲山への眺望</p> | <p>㊱ 阪神香櫨園駅 (景観賞)</p> <p>㊲ 市役所本庁舎</p> <p>㊳ 西宮港大橋</p> <p>㊴ 御前浜橋</p> <p>㊵ 榎吉田製作所 本社工場 (景観賞)</p> <p>㊶ 重工業の工場景観</p> <p>㊷ 日本盛酒蔵通り煉瓦館</p> <p>㊸ 西宮マリナパークシティのまちなみ</p> |
|--|---|---|

上記の景観資源名を押していただくで当該資源の詳細説明のページに移動します。

3-1 御前浜公園		資 源 類 型	親水空間
所在地	地 域	本庁南西地域	
	住 所	西波止町 1	
座 標	北緯	34.72413	
	東経	135.33044 ※座標は代表点を示す	
建設年等		-	
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	夙川河口鳥獣保護区(昭和 59 年 11 月 1 日指定)	
受賞歴等		-	
資源の概要		<p>「御前浜(おまえはま)」の名称は古く、平安時代にはこの名前で呼ばれていたという。当時の海岸線は現在よりも北部に位置していて、広田神社の「浜の南宮」の前にある浜ということから、「御前」の浜と呼ばれるようになった。海水浴場であったが昭和 40 年(1965)に閉鎖された。多様な植物や生き物が生息し、冬場の干潟には多くの鳥が飛来している。</p>	
景観上の特徴		<p>自然海浜が残り、波の音が聞こえる海辺の穏やかな景観を継承している。</p>	



休憩所から見る御前浜公園



御前浜公園の休憩所

3-2 新西宮ヨットハーバー		資 源 類 型	親水空間
所在地	地 域	本庁南西地域	
	住 所	西宮浜 4-16-1	
座 標	北緯	34.71086	
	東経	135.33055	
建設年等		平成 7 年(1995)	
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	-	
受賞歴等		センターハウス:第 3 回西宮市都市景観賞(平成 12 年度)	
資源の概要		<p>西宮浜の海際に建つセンターハウスは、カーテンウォールの外壁と、海に向かって翼を広げたような屋根を持つ、軽快で開放感のある建物である。芝生広場や海辺のボードウォークといった開放的な外構計画によって、海辺にふさわしいシンボリックな施設となっている。</p>	
景観上の特徴		<p>センターハウスをランドマークとして、ヨットハーバーにはヨットやクルーザーが停泊し、海辺の開放的で清々しい景観が形成されている。</p>	



ヨットハーバーに係留されているヨット群



センターハウス

3-3 西宮大橋周辺のマリーナ			資 源 類 型	親水空間
所在地	地 域		本庁南西地域	
	住 所		西波止町1他	
座 標	北緯		34.72475	
	東経		135.33517 ※座標は代表点を示す	
建設年等			西宮マリーナ:昭和20年(1945)	
指定等	景 観		-	
	文化財		-	
	環 境・その他		-	
受賞歴等			-	
資源の概要			西宮マリーナは西宮港の一番奥まった静かな入り江に位置しており、波は比較的穏やかである。海上の係留スペースには70ftクラスまでの保管が可能。瀬戸内、淡路へのクルージングの出発点として多くのクルーザーが集結している。西宮大橋を挟んで反対側にも西宮ポートパークや神戸マリーナなどのマリーナ・ヨットハーバーが存在する。	
景観上の特徴			西宮大橋からの眺望対象となり、海辺のさわやかな景観をつくりだしている。	



西宮大橋から見る西宮マリーナ



北側から見る西宮マリーナ

3-4 夙川河川敷緑地			資 源 類 型	公共空間の緑(拠点・軸)
所在地	地 域		本庁南西地域	
	住 所		甍岩町,獅子ケ口町~川添町,下葎原町	
座 標	北緯		34.73585	
	東経		135.32900 ※座標は代表点を示す	
建設年等			昭和26年(1951)(都市計画決定)	
指定等	景 観		-	
	文化財		-	
	環 境・その他		市庭町のクス:西宮市保護樹木(番号:206)(昭和49年11月30日指定)	
受賞歴等			日本さくら名所100選(平成2年) 日本の歴史公園100選(平成18年) 美しい日本の歴史的風土準100選(平成18年)	
資源の概要			夙川の両岸にサクラとマツの並木が続く南北約2.8kmの河川敷は「日本さくら名所100選」の一つに選ばれた兵庫県下有数のサクラの名所である。夏のみどり、秋の紅葉も美しく、木々の間から甲山の遠望が見え隠れする。神楽町から泉町までは「夙川オアシスロード」として遊歩道が整備されている。香榎園駅前の市庭町には保護樹木がある。	
景観上の特徴			南部地域を南北に貫く豊かな緑地が、本市の重要な緑の景観軸となっている。隣接する住宅地も、夙川緑地からしみ出した緑によって良好な住宅地景観がつけられている。	



阪神香榎園駅南側の夙川オアシスロード



阪神香榎園駅北側の夙川オアシスロード

3-5 西宮マリナパークシティを取り囲む樹林		資 源 類 型	公共空間の緑(拠点・軸)
所在地	地 域	本庁南西地域	
	住 所	西宮浜 4	
	座 標	北緯	34.71585
		東経	135.32856 ※座標は代表点を示す
建設年等	-		
指定等	景 観	西宮浜産業団地地区建築協定	
	文化財	-	
	環 境・その他	-	
受賞歴等	-		
資源の概要	<p>西宮マリナパークシティは景観に配慮したまちづくりとして、隣接の産業団地との境界部に緩衝緑地を配置し、ヨットハーバーの水辺に公園・緑地を配置するなど、緑と親水性を重要なコンセプトとしている。</p>		
景観上の特徴	<p>街区を囲う緑の帯が臨海部での解放感と一体となって、うるおい豊かな景観を形成している。</p>		



西宮マリナパークシティ「丘のある街」北側の樹林



西宮浜小学校と中学校の間の樹林

3-6 西宮浜のサクラ並木		資 源 類 型	公共空間の緑(拠点・軸)
所在地	地 域	本庁南西地域	
	住 所	西宮浜 4-10-4	
	座 標	北緯	34.71303
		東経	135.32863 ※座標は代表点を示す
建設年等	-		
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	-	
受賞歴等	-		
資源の概要	<p>西宮マリナパークシティ杜のまちと桜のまちの間から南の新西宮ヨットハーバーまで、約300mにわたってサクラ並木が続いている。</p>		
景観上の特徴	<p>海へと一直線に続くサクラ並木が印象的で、まちに彩りとうるおいを与えるシンボリックな空間となっている。</p>		



サクラ並木(春)



サクラ並木(夏)

3-7 市役所前線のクスノキ並木			資 源 類 型	公共空間の緑(拠点・軸)	
 <p>本庁舎前のクスノキ並木</p>	所在地	地 域	本庁南西地域		
		住 所	六湛寺町～本町		
		座 標	北緯	34.73555	
			東経	135.34179 ※座標は代表点を示す	
建設年等	-				
 <p>与古道町のクスノキ並木</p>	指定等	景 観	-		
		文化財	クスノキ:市指定天然記念物(平成 3 年 3 月 25 日指定)		
		環 境・その他	西宮市保護樹木<番号:9,10,11,21,27,28>(昭和 48 年 10 月 22 日指定) <番号:21>(平成 8 年 3 月 18 日所在地変更)		
受賞歴等	-				
資源の概要	市役所前の国道 2 号付近の保護樹木であるクスノキから南の国道 43 号までクスノキ並木が続いている。国道 2 号と市役所前線が交差する位置に立つクスノキは樹齢約 330 年と推定され、市指定天然記念物である。				
景観上の特徴	市役所前の保護樹木のクスノキから南へクスノキの並木が連続し、緑あふれる沿道景観を形成している。				

3-8 札場筋線のクスノキ並木			資 源 類 型	公共空間の緑(拠点・軸)	
 <p>国道 43 号付近より見るクスノキ並木</p>	所在地	地 域	本庁南西地域		
		住 所	六湛寺町～本町		
		座 標	北緯	34.73632	
			東経	135.33950 ※座標は代表点を示す	
建設年等	-				
 <p>阪神電車西宮駅付近のクスノキ並木</p>	指定等	景 観	-		
		文化財	-		
		環 境・その他	-		
受賞歴等	-				
資源の概要	札場筋線の国道 2 号から国道 43 号間の歩道にクスノキ並木が続いている。				
景観上の特徴	商業施設が建ち並ぶ札場筋沿いにおいて、緑豊かなクスノキ並木が乾いた印象をやわらげ、うるおいある通り景観の形成に寄与している。				

3-9 用海筋のケヤキ並木			資 源 類 型	公共空間の緑(拠点・軸)
	所在地	地 域	本庁南西地域	
		住 所	六湛寺町 2	
座 標		北緯	34.73724	
		東経	135.34406	※座標は代表点を示す
建設年等		-		
指定等	景 観	-		
	文化財	-		
	環 境・その他	-		
受賞歴等		-		
資源の概要		国道 2 号から阪神高架下(用海筋)まで、東川沿いにケヤキ並木が続いている。		
景観上の特徴		樹形の美しいケヤキが続く並木道は、四季折々にその表情を変えながら良好な景観を形成している。		
				
歩道から見たケヤキ並木				

3-10 海清寺の大クスなどの境内林			資 源 類 型	保護樹木と境内林・樹林等	
	所在地	地 域	本庁南西地域		
		住 所	六湛寺町 7		
		座 標	北緯	34.73703	
			東経	135.34287	※座標は代表点を示す
建設年等		海清寺三門:享保2年(1717)			
指定等	景 観	-			
	文化財	海清寺の大クス:県指定天然記念物(昭和 41 年 3 月 22 日指定) 海清寺三門 付棟札 2 枚:市指定有形文化財(平成 8 年 3 月 12 日指定)			
	環 境・その他	西宮市保護樹木<番号:18,19,20,22,23,24,29>(昭和 48 年 10 月 22 日指定)<番号:24>(平成 8 年 3 月 18 日所在地変更)			
受賞歴等		-			
資源の概要		県指定文化財に指定されているクスノキを含む保護樹木やその他の木々からなる海清寺の境内林。海清寺は南北朝時代(1394)創建の寺院であり、道路を挟んだ向かいには西宮市役所が立地している。海清寺三門は市指定文化財に指定されている。			
景観上の特徴		複数の大木が涼々しくたち、豊かな緑の景観を形成しており、その中行む朱色の門が緑に映え、印象的である。			
					
用海筋から見るクスノキ群					

3-11 須佐之男神社の境内林			資 源 類 型	保護樹木と境内林・樹林等
所在地	地 域	本庁南西地域		
	住 所	郷免町 2-1		
座 標	北緯	34.73708		
	東経	135.32387		
建設年等	-			
指定等	景 観	-		
	文化財	-		
	環 境・その他	西宮市景観樹林保護地区<番号:15>(昭和 49 年 2 月 27 日指定、平成 14 年 8 月 9 日区域変更)		
受賞歴等	-			
資源の概要	斜面地に残存した景観保護樹林地区である。須佐之男神社の創始は慶長年間(1596~1615)と伝えられている。			
景観上の特徴	緑豊かな境内林は周辺住宅地の緑の背景となり、立体的で奥行きのある景観をつくり出している。			



国道 2 号から見る境内林



須佐之男神社拝殿と境内林

3-12 茂松禅寺の境内林			資 源 類 型	保護樹木と境内林・樹林等
所在地	地 域	本庁南西地域		
	住 所	六湛寺町 10-40		
座 標	北緯	34.73826		
	東経	135.34146		
建設年等	-			
指定等	景 観	-		
	文化財	-		
	環 境・その他	西宮市保護樹木<番号:5,6>(昭和 48 年 10 月 22 日指定)		
受賞歴等	-			
資源の概要	保護樹木 2 本が立つ境内地。西宮市役所に隣接して立つ。国道 2 号にも面しており、道路際に緑を創出している。			
景観上の特徴	隣接する市役所前の樹林とともに、地区の豊かな緑の空間をつくり出している。			



入口から見上げるクスノキ



国道 2 号から見る茂松禅寺

3-13 住吉神社の境内林		資 源 類 型	保護樹木と境内林・樹林等
所在地	地 域	本庁南西地域	
	住 所	西波止町 4	
	座 標	北緯	34.72484
		東経	135.33429
建設年等	-		
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	エノキ:西宮市保護樹木<番号:2>(昭和 48 年 10 月 22 日指定)	
受賞歴等	-		
資源の概要	保護樹木のエノキ 1 本を含む境内林。住吉神社は、昔この土地の人が西宮の港を修築する際に海上運輸、漁労の安全繁栄を願って勧請されたといわれている。		
景観上の特徴	現代的に整備された港湾景観の中で、地区に残る貴重な緑として付近の住宅地にうるおいを与えている。		



住吉神社境内



前面道路から見る境内林

3-14 松原神社と喜多向稲荷社の境内林		資 源 類 型	保護樹木と境内林・樹林等
所在地	地 域	本庁南西地域	
	住 所	松原町 2-26	
	座 標	北緯	34.73589
		東経	135.34591
		※座標は代表点を示す	
建設年等	-		
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	西宮市保護樹木<番号:33,35,36,37,38>(昭和 48 年 10 月 22 日指定)	
受賞歴等	-		
資源の概要	保護樹木 5 本を含む境内林。松原神社と喜多向稲荷社は道路を挟んで位置しており、境内林が道路を覆うように立つ。		
景観上の特徴	鬱蒼とした森となっており、付近にうるおいや涼しさをもたらす景観要素となっている。		



勤労会館前から見る境内林



松原神社に面する喜多向稲荷社

3-15 稲荷大神のエノキ			資 源 類 型	保護樹木と境内林・樹林等	
	所在地	地 域	本庁南西地域		
		住 所	中葭原町 1		
		座 標	北緯	34.72842	
			東経	135.32783	
建設年等	-				
指定等	景 観	-			
	文化財	-			
	環 境・その他	西宮市保護樹木<番号:1>(昭和 48 年 10 月 22 日指定)			
受賞歴等	-				
資源の概要	甲陽学院中学校に隣接する神社である福高大神に樹高 6m、枝張 10m、幹周 294cm のエノキが立つ。				
景観上の特徴	夙川沿いの緑豊かな住宅地景観を形成する一部となっている。				

稲荷大神のエノキ

3-16 浜脇小学校のクスノキ			資 源 類 型	保護樹木と境内林・樹林等	
	所在地	地 域	本庁南西地域		
		住 所	浜脇町 5-48		
		座 標	北緯	34.73221	
			東経	135.33583	
建設年等	-				
指定等	景 観	-			
	文化財	-			
	環 境・その他	西宮市保護樹木<番号:194,195>(昭和 49 年 11 月 30 日指定)			
受賞歴等	-				
資源の概要	浜脇小学校に樹高 14m、枝張 13m、幹周 266cm のクスノキと樹高 8m、枝張 13m、幹周 228cm のクスノキが立つ。				
景観上の特徴	小学校のグラウンドに位置し、周囲の景観に豊かなうらおいを与えている。				

前面道路から見るクスノキ



歩道から見るクスノキ

3-17 勤労会館前のクスノキ		資 源 類 型	保護樹木と境内林・樹林等
所在地	地 域	本庁南西地域	
	住 所	松原町 2-37	
	座 標	北緯	34.73599
		東経	135.34535
建設年等	-		
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	西宮市保護樹木<番号:32>(昭和 48 年 10 月 22 日指定)	
受賞歴等	-		
資源の概要	勤労会館前の駐車場に立つ樹高 8m、枝張 8m、幹周 192cm のクスノキが立つ。		
景観上の特徴	隣接する松原神社の境内林と共に、地区に残る緑豊かな景観の一部となっている。		
 <p>松原神社方面から見るクスノキ</p>			

3-18 西宮神社の表大門・大練塀等の建造物と境内林		資 源 類 型	歴史的建造物
所在地	地 域	本庁南西地域	
	住 所	社家町	
	座 標	北緯	34.73547
		東経	135.33481
建設年等	表大門:桃山(1573-1614) 大練塀:室町中期(1393-1466) 嘉永橋:嘉永元年(1848) 瑞寶橋:明治 40 年(1907)		
指定等	景 観	-	
	文化財	表大門:国指定重要文化財(大正 15 年 4 月 19 日指定) 大練塀南門の西、表大門の北、表大門南門間:国指定重要文化財(昭和 13 年 7 月 4 日指定) 嘉永橋:国登録有形文化財(平成 25 年 3 月 29 日登録) 瑞寶橋:国登録有形文化財(平成 25 年 3 月 29 日登録) 社叢:県指定天然記念物(昭和 36 年 5 月 12 日指定)	
	環 境・その他	西宮市景観樹林保護地区<番号:1>(昭和 48 年 10 月 22 日指定、平成 31 年 2 月 25 日区域変更)	
受賞歴等	第 13 回人間サイズのまちづくり賞(まちなみ建築部門)		
資源の概要	国指定重要文化財の表大門や大練塀、登録文化財の橋等の建造物群と県指定文化財でありクロガネモチ群落の境内林からなる。 鎌倉時代から室町時代にかけて神社の門前町ができ、西宮の町が発展してきた中心となった。		
景観上の特徴	歴史的建造物と境内林が一体となり地域のランドマークとして厳肅で趣のある景観を形成している。		
 <p>拜殿と境内林</p>			
 <p>表大門と大練塀</p>			

3-19 西宮砲台		資 源 類 型	歴史的建造物
所在地	地 域	本庁南西地域	
	住 所	西波止町	
座 標	北緯	34.72425	
	東経	135.33289	
建設年等		慶応2年(1866)	
指定等	景 観	-	
	文化財	国指定史跡(大正11年3月8日指定)	
	環 境・その他	-	
受賞歴等		-	
資源の概要		西宮砲台(台場)は、慶応2年(1866)江戸幕府が大坂湾防備のために築造した軍事施設である。外国船の脅威に対処するため日本沿岸には多数の台場が築造されたが、大砲を据える石堡塔と土塁が残るのは西宮砲台のみとなる。	
景観上の特徴		西宮港に現存する数少ない歴史資源であり、自然海浜である御前浜とともに、印象的な景観が形成されている。	
 <p>御前浜から見る西宮砲台</p>  <p>西宮砲台と公園内の樹木</p>			

3-20 旧辰馬喜十郎住宅		資 源 類 型	歴史的建造物
所在地	地 域	本庁南西地域	
	住 所	浜町8-5	
座 標	北緯	34.72785	
	東経	135.33739	
建設年等		明治21年(1888)	
指定等	景 観	-	
	文化財	県指定有形文化財(昭和57年3月26日指定) 市指定有形文化財(昭和56年3月25日指定)	
	環 境・その他	-	
受賞歴等		ひょうごの近代住宅100選(兵庫県)	
資源の概要		旧辰馬喜十郎住宅は明治21年(1888)に酒造業を営む南辰馬家初代当主喜十郎氏が大工に命じ、神戸英国領事館を模して建設したと伝えられている。2階建ての母屋と、便所と浴室からなる附属屋、門がある。屋根には煙突、窓は鍍戸、開放的なベランダに飾りが施された門柱、付属屋の壁と煙突はレンガ造りなど、日本人大工が西洋の建物を研究し、細かい部分にこだわった造りが特徴的である。	
景観上の特徴		コロニアルスタイル建築の特徴を有する洋館が残り、当時の西宮郷の酒づくりの繁栄を感じることができる景観資源である。	
 <p>正面より見る旧辰馬喜十郎住宅</p>  <p>南側から見る門</p>			

3-21 宮水井戸場		資 源 類 型	歴史的建造物	
 <p>宮水発祥之地記念碑</p>	所在地	地 域	本庁南西地域	
		住 所	石在町 13	
		座 標	北緯	34.73219
			東経	135.34115
	建設年等	-		
指定等	景 観	-		
	文化財	-		
	環 境・その他	-		
受賞歴等	第 2 回西宮市都市景観賞(平成 9 年度)			
資源の概要	<p>3 つの酒造会社が協力し境界の塀を取り払い、「宮水」の視覚化をテーマに、宮水井戸場を開放的に修景し、酒造地区のイメージ・アップに貢献している。この取組は、第 2 回西宮市都市景観賞を受賞している。</p>			
景観上の特徴	<p>碑によって現在も湧き出している宮水の存在を確認することができ、酒蔵地域として発展する礎を今に伝える空間となっている。</p>			
 <p>開放的に修景された宮水井戸場</p>				

3-22 旧多聞ビルディング		資 源 類 型	歴史的建造物	
 <p>南東から見る旧多聞ビルディング</p>	所在地	地 域	本庁南西地域	
		住 所	久保町 2-1	
		座 標	北緯	34.73311
			東経	135.34105
	建設年等	昭和 3 年(1928)		
指定等	景 観	-		
	文化財	-		
	環 境・その他	-		
受賞歴等	-			
資源の概要	<p>旧多聞ビルディングは元八馬汽船事務所として建てられたもので、1 階が西宮銀行、2 階が八馬汽船の本社として使われていた。西宮出身である建築家の古塚正治氏により設計され、昭和 3 年に建てられた関西モダニズム建築を代表する建物である。</p>			
景観上の特徴	<p>ネオルネッサンス式の近代建築が、港町で栄えた地区の面影を今に伝えるとともに、個性ある景観のアクセントとなっている。</p>			
 <p>北側の阪神高速高架側から見る旧多聞ビルディング</p>				

3-23 大手前大学の校舎郡と樹林			資 源 類 型	文教施設	
 <p>大手前大学さくら夙川キャンパスメディアライブラリー-CELL</p>	所在地	地 域	本庁南西地域		
		住 所	御茶家所町 6		
		座 標	北緯	34.73810	
			東経	135.32545 ※座標は代表点を示す	
建設年等	アートセンター(D棟):平成4年(1992) 大手前大学さくら夙川キャンパスメディアライブラリー-CELL(CE棟):平成19年(2007)				
指定等	景 観	-			
	文化財	-			
	環 境・その他	西宮市保護樹木<番号:70>(昭和48年10月22日指定)			
受賞歴等	大手前大学さくら夙川キャンパスメディアライブラリー-CELL:第6回西宮市都市景観賞(平成27年度)				
資源の概要	閑静な住宅地に囲まれた大学であり、明るく開放的な空間として人々に交流の場を提供している。安藤忠雄氏が設計したアートセンター(D棟)や都市景観賞を受賞した大手前大学さくら夙川キャンパスメディアライブラリー-CELL(CE棟)などが立地している。				
景観上の特徴	通り際の豊かな植栽がうるおいあるまちなみ形成に寄与している。また、その中にある大きく曲がったマツが、現代的スタイルの校舎との対比も相まって、印象的な空間を形成している。				
 <p>西側から見る大手前大学本館(A棟)と樹木</p>					

3-24 西宮市大谷記念美術館			資 源 類 型	文教施設	
 <p>大谷記念美術館正面</p>	所在地	地 域	本庁南西地域		
		住 所	中浜町 4-38		
		座 標	北緯	34.73219	
			東経	135.32460	
建設年等	昭和47年(1972)				
指定等	景 観	-			
	文化財	-			
	環 境・その他	-			
受賞歴等	-				
資源の概要	西宮市大谷記念美術館は実業家で元昭和電極創業者の大谷竹次郎氏から土地、建物、美術作品の寄贈を受け、昭和47年(1972)に開館した美術館である。フランスおよび日本の近代絵画を中心とするコレクションに加え、阪神間を中心とする地元作家の作品や版画の蒐集にもつとめ、現在では1,100点以上の作品が収蔵されている。平成3年(1991)に大規模な増改築がなされた。玄関正面のロビーから回遊式日本庭園を眺めることができる。				
景観上の特徴	夙川沿いに建てられた旧邸宅の庭園の雰囲気残り、住宅地景観の風格を高める要素となっている。				
 <p>大谷記念美術館前の生垣と歩道</p>					

3-25 西宮市貝類館		資 源 類 型	文教施設	
 <p>西宮市貝類館南側</p>  <p>西宮市貝類館北側</p>	所在地	地 域	本庁南西地域	
		住 所	西宮浜 4-13-4	
		座 標	北緯	34.71200
			東経	135.32791
	建設年等	平成 11 年(1999)		
	指定等	景 観	-	
		文化財	-	
		環 境・その他	-	
	受賞歴等	第 1 回人間サイズのまちづくり賞(建築部門)		
	資源の概要	西宮市貝類館は、世界各地の貝類約 2,000 種、5,000 点が展示されている貝類専門の博物館として平成 11 年(1999)に開館した。建物は建築家安藤忠雄氏の設計で、ヨットの帆をイメージした外観を持ち、館内は海の中を思わせるブルーで統一されている。		
景観上の特徴	特徴的な外観が、隣接する新ヨットハーバーとともに、臨海住宅地らしい景観を形成するランドマークとなっている。			

3-26 辰馬考古資料館		資 源 類 型	文教施設	
 <p>正面から見る辰馬考古資料館</p>  <p>夙川沿いのマツの木と辰馬考古資料館</p>	所在地	地 域	本庁南西地域	
		住 所	松下町 2-28	
		座 標	北緯	34.73523
			東経	135.32861
	建設年等	昭和 51 年(1976)		
	指定等	景 観	-	
		文化財	-	
		環 境・その他	-	
	受賞歴等	-		
	資源の概要	辰馬考古資料館は西宮で酒造業を営む「白鷹」の3代目当主、辰馬悦蔵氏が設立した博物館である。収蔵品には主に悦蔵氏が収集した考古資料と、祖父である悦叟氏が有していた富岡鉄斎作品とに分かれる。		
景観上の特徴	純和風の切妻瓦屋根が特徴的で隣接する夙川のマツ並木などと一体となって、趣ある景観を形成している。			

3-27 白鷹緑水苑と白鷹集古館			資 源 類 型	現代建造物
所在地	地 域	本庁南西地域		
	住 所	鞍掛町 5-1		
	座 標	北緯	34.73057	
		東経	135.33873	
建設年等	-			
指定等	景 観	-		
	文化財	-		
	環 境・その他	-		
受賞歴等	第4回西宮市都市景観賞(平成17年度)			
資源の概要	白鷹緑水苑はかつて同地にあった白鷹の蔵元、辰馬家の住居をイメージ再現した建物である。軒の深い瓦葺きの大屋根、漆喰壁、虫籠窓など、造り酒屋が軒を連ねていたこの町の歴史の記憶を思い起こさせるような懐かしい造りの外観となっている。ショップ、レストラン、日本酒バー、多目的ホールに加え、江戸末期から昭和初期に至る蔵元の生活道具が展示されている。			
景観上の特徴	白鷹緑水苑の和風建築が昔から続く酒蔵地域の面影を伝える。隣接する蔵を再生した白鷹集古館と一体となって、酒蔵通りのランドマークとなっている。			



白鷹緑水苑 (写真提供: 西宮流 (にしのみやスタイル))



白鷹集古館

3-28 白鹿記念酒造博物館			資 源 類 型	現代建造物
所在地	地 域	本庁南西地域		
	住 所	鞍掛町 8-21、浜町 4-10		
	座 標	北緯	34.72793	
		東経	135.33796 ※座標は代表点を示す	
建設年等	酒造館: 明治2年(1869) 記念館: 昭和57年(1982)			
指定等	景 観	-		
	文化財	-		
	環 境・その他	-		
受賞歴等	記念館: 第1回西宮市都市景観賞(平成2年度) 酒蔵館: 第3回西宮市都市景観賞(平成12年度) 第4回人間サイズのまちづくり賞(建築部門)			
資源の概要	白鹿記念酒造博物館は、酒造りの歴史を日本人の生活文化遺産として後世に正しく伝えることを目的に「白鹿」醸造元の辰馬本家酒造株式会社が昭和57年(1982)に酒蔵館と記念館で構成された博物館を設立したものである。平成7年(1995)の震災で酒蔵館が全壊し、現在の酒蔵館は明治2年(1869)築の酒蔵を利用、残った記念館とともに平成10年(1998)に博物館として再開された。第1、3回西宮市都市景観賞を受賞した。			
景観上の特徴	明治期の煉瓦造蔵をモチーフにした記念館と純和風のデザインの酒蔵館が、旧辰馬喜十郎邸と一体となって酒造のまちの時代を感じることができる魅力あるまちなみを形成している。			



記念館



酒蔵館

3-29 アンリシャルパンティエ・ハーバースタジオ 43		資 源 類 型	現代建造物	
 <p>南西側から見たハーバースタジオ 43</p>	所在地	地 域	本庁南西地域	
		住 所	久保町 5-16	
		座 標	北緯	34.73098
			東経	135.33947
建設年等	平成 9 年(1997)			
指定等	景 観	-		
	文化財	-		
	環 境・その他	-		
受賞歴等	第 3 回西宮市都市景観賞(平成 12 年度) 第 2 回人間サイズのまちづくり賞(建築部門)			
資源の概要	宮水・酒蔵地帯に建つ製菓工場を主体とする施設であり、工場を各要素に分節し、配置することで、まちなみとのスケールを調整しているとともに、工場然としない外観デザインが魅力的な空間を提供しているとして、第 3 回西宮市都市景観賞を受賞している。			
景観上の特徴	札幌筋沿いに設けた開放的で豊かな植込みにより、うるおいあるまちなみの形成に寄与している。			
西側から見たハーバースタジオ 43				

3-30 西宮聖ペテロ教会聖堂		資 源 類 型	現代建造物	
 <p>正面から見る西宮聖ペテロ教会聖堂①</p>	所在地	地 域	本庁南西地域	
		住 所	郷免町 8-5	
		座 標	北緯	34.73824
			東経	135.32497
建設年等	平成 9 年(1997)			
指定等	景 観	-		
	文化財	-		
	環 境・その他	-		
受賞歴等	第 4 回西宮市都市景観賞(平成 17 年度)			
資源の概要	西宮聖ペテロ教会聖堂は昭和 24 年(1949)に建設されたが、阪神・淡路大震災後で全壊し、既存の樹木を生かして平成 9 年(1997)に再建された。			
景観上の特徴	こぢんまりとした親しみのある雰囲気とシンプルで象徴的なデザインは、隣接する大学とも調和して、趣のあるまちなみの形成に寄与している。			
正面から見る西宮聖ペテロ教会聖堂②				

3-31 阪神香櫨園駅		資源 類型	現代建築物
所在地	地域	本庁南西地域	
	住所	松下町 1-1	
座標	北緯	34.73443	
	東経	135.32914	
建設年等	明治 40 年(1907)		
指定等	景観	-	
	文化財	-	
	環境・その他	-	
受賞歴等	第 4 回西宮市都市景観賞(平成 17 年度)		
資源の概要	<p>明治 40 年(1907)に大阪の商人である香野蔵治氏と櫨山喜一氏によって開業された香櫨園遊園地(二人の姓を一字ずつとって名付けられた)の最寄り駅として、同年に開業された駅である。平成 13 年(2001)に高架化され、現在の香櫨園駅となった。</p>		
景観上の特徴	<p>風格と落ち着きを感じるデザインが地域の顔にふさわしく、まちなみの質を向上させるランドマークとなっている。</p>		



北側から見る阪神香櫨園駅



阪神香櫨園駅北口

3-32 市役所本庁舎		資源 類型	現代建造物
所在地	地域	本庁南西地域	
	住所	六湛寺町 10-3	
座標	北緯	34.73771	
	東経	135.34181	
建設年等	昭和 46 年(1971)		
指定等	景観	-	
	文化財	-	
	環境・その他	-	
受賞歴等	-		
資源の概要	<p>市役所前線に面する正面側にピロティを設け、奥に 8 階建の高層棟が一体となった建物。令和 3 年(2021)に市役所前線の道路を挟んで向かいに西宮市役所第二庁舎(危機管理センター)が建設された。</p>		
景観上の特徴	<p>過度に飾らない建物と周辺の公園や神社などの緑が一体となって、西宮らしい穏やかな行政エリアの景観を形成している。</p>		



本庁舎正面



本庁舎と第二庁舎

3-33 西宮港大橋		資源 類型	現代建造物
所在地	地域	本庁南西地域	
	住所	西宮浜と甲子園浜の間	
座標	北緯	34.71427	
	東経	135.34148	
建設年等		平成 6 年(1994)	
指定等	景観	-	
	文化財	-	
	環境・その他	-	
受賞歴等		-	
資源の概要		西宮港大橋は西宮市の甲子園浜と西宮浜を結ぶ橋長 252m のニールセンローゼ桁橋であり平成 6 年(1994)に完成した。	
景観上の特徴		白いアーチ状の構造体が海の青色を中心とした景観に映え、地区のランドマークとして、対岸(甲子園浜橋など)からの視対象になっている。	



甲子園浜海浜公園から見る西宮港大橋



南側より見る西宮港大橋

3-34 御前浜橋		資源 類型	現代建造物
所在地	地域	本庁南西地域	
	住所	西波止町と西宮浜の間	
座標	北緯	34.72162	
	東経	135.33453	
建設年等		平成 11 年(1999)	
指定等	景観	-	
	文化財	-	
	環境・その他	-	
受賞歴等		-	
資源の概要		西波止町と西宮浜を結ぶ長さ約 60m の歩行者・自転車専用の橋として、平成 11 年(1999)に供用開始された。橋の建設以前、当該海域の船舶の航行が自由であったことから、歩行者や自転車の円滑な通行が可能な平面的な道路としながら、船舶の往来が可能となるよう跳ね橋構造となった。	
景観上の特徴		コンパクトでありながら、特異の用途とその形態などにより、地区に親しまれるランドマークとなっている。	



西宮大橋から見る御前浜橋



御前浜橋南側

3-35 (株)吉田製作所 本社工場		資 源 類 型	現代建造物	
 <p>本社工場</p>	所在地	地 域	本庁南西地域	
		住 所	西宮浜 4-7-47	
		座 標	北緯	34.71486
			東経	135.33168
建設年等	平成 22 年(2010)			
指定等	景 観	-		
	文化財	-		
	環 境・その他	-		
受賞歴等	第 5 回西宮市都市景観賞(平成 22 年度)			
 <p>本社工場 (夜景)</p>	資源の概要	(株)吉田製作所は金型製造などを行う企業であり、拠点を一箇所に集約するために、平成 22 年(2010)に西宮浜に新しい工場を建設した。工場建築でありながら、前面道路からのセットバックや植栽帯の設置など、建物のボリューム感を抑えたゆとりとうるおいのあるまちなみ景観を形成していることから、第 5 回西宮市景観賞を受賞している。		
景観上の特徴	前面の豊かな植栽や、落ち着いた色彩デザインなどにより、ゆとりとうるおいのある産業景観を形成している。			

3-36 重工業の工場景観		資 源 類 型	現代建造物	
 <p>阪神高速湾岸線から見る工場景観</p>	所在地	地 域	本庁南西地域	
		住 所	朝風町	
		座 標	北緯	34.72238
			東経	135.34016
建設年等	-			
指定等	景 観	-		
	文化財	-		
	環 境・その他	-		
受賞歴等	-			
 <p>西宮大橋から見る工場景観</p>	資源の概要	朝風町に立地している大規模な工場群。西宮浜と甲子園浜のどちらからも見ることができる。		
景観上の特徴	大規模な工場群が西宮大橋などから眺望でき、臨海部のダイナミックな産業景観を形成している。			

3-37 日本盛酒蔵通り煉瓦館		資源 類型	現代建造物
 <p>正面から見る煉瓦館</p>	所在地	地域	本庁南西地域
		住所	用海町 4-28
		座標	北緯 34.73023 東経 135.34469
	建設年等	平成 12 年(2000)	
 <p>南西側から見る煉瓦館</p>	指定等	景観	-
		文化財	-
		環境・その他	-
受賞歴等	-		
資源の概要	日本盛酒蔵通り煉瓦館は平成 12 年(2000)に、酒蔵通りに面した敷地内に日本酒情報発信基地として、日本盛株式会社によって建設された。		
景観上の特徴	外壁を煉瓦調としたデザインは、酒蔵通りのアクセントとなり、魅力あるまちなみの形成に寄与している。		

3-38 西宮マリナパークシティのまちなみ		資源 類型	特徴的なまちなみ
 <p>南側から見る集合住宅群とサクラ並木</p>	所在地	地域	本庁南西地域
		住所	西宮浜 4
		座標	北緯 34.71308 東経 135.32863
	建設年等	-	
 <p>「港のまち」の戸建て住宅地</p>	指定等	景観	-
		文化財	-
		環境・その他	西宮マリナパークシティ戸建地区地区計画
受賞歴等	-		
資源の概要	平成 7 年(1995)4 月に阪神・淡路大震災の教訓を踏まえた「住宅を中心とした街づくり」に計画を変更し、「西宮浜地区土地利用基本計画」が策定され、兵庫県、西宮市、住宅・都市整備公団、兵庫県住宅供給公社、西宮マリナシティ開発、積水ハウスなどが公民一体となってまちづくりが進められた。平成 10 年(1998)3 月に「西宮マリナパークシティ」が街びらきした。		
景観上の特徴	各街区で異なるコンセプトが設定され、それに伴う建築物の色彩や意匠の違いが、まちなみ景観に変化を与え、街区の間の街路樹が緑豊かで落ち着いたある通り景観をつくり出している。地区の中心には新西宮ヨットハーバーに向かってサクラ並木が貫き、印象的な空間を形成している。		

西宮大橋の東側眺望コーナーから西宮港大橋と甲子園浜方面への眺望

【本庁南西地域】



視点場からの眺望



視点場と視対象の関係



視点場周辺の拡大図

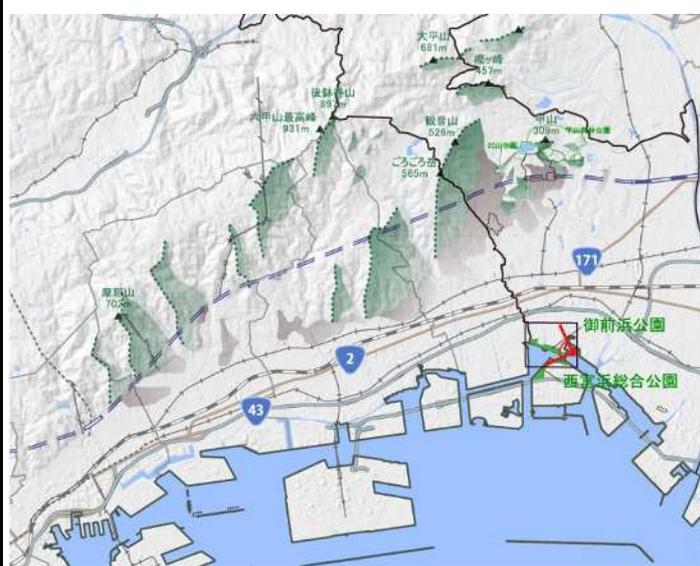
種類	パノラマ		 視点場の状態	眺望空間	近景	大阪湾の水面
構成	視点場	西宮大橋 眺望コーナー(東側)			中景	臨海部の工場景観、西宮浜のヨットハーバー、西宮港大橋
		視対象	臨海空間	遠景	鳴尾浜などの埋立地	
特徴	・甲子園浜、鳴尾浜と続く海岸軸方向に眺望が開けており、南東方面に大阪湾へつながる海が見える。奥には、武庫川団地の高層住宅群が遠望できる。 ・左側にはJFEスチール西宮工場の工場群、右側には西宮ポートパークなどのヨットハーバーと西宮港大橋のアーチがアイストップになっている。					

西宮大橋の西側眺望コーナーから六甲山系を背景とした市街地と御前浜への眺望

【本庁南西地域】



視点場からの眺望



視点場と視対象の関係



視点場周辺の拡大図

視点場所在地	緯度	34.72326
	経度	135.33684
眺望空間	近景	西宮マリーナ
	中景	御前浜公園、西宮浜総合公園
	遠景	六甲山系を背景とした市街地と御前浜

類型	パノラマ	
構成	視点場	西宮大橋 眺望コーナー(西側)
	視対象	六甲山系を背景とした市街地と御前浜



視点場の状態

特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>西宮マリーナを近景として、六甲山系を背景とした市街地と御前浜公園、西宮浜を望むことができる。</li> <li>跳ね橋の御前浜橋がアイストップとなっている。</li> </ul>
----	--



視点場5からの眺望



視点場と視対象の関係



視点場周辺の拡大図

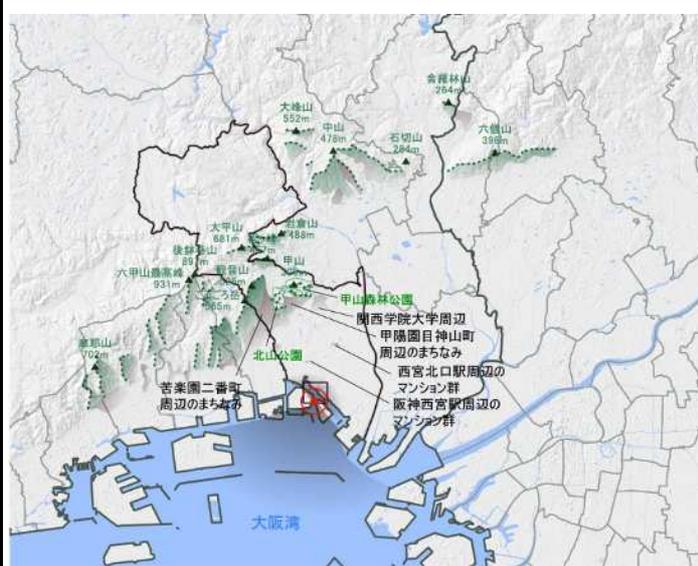
類型	パノラマ		 <p>視点場の状態</p>	視点場所在地	緯度	34.72049
構成	視点場	西宮浜総合公園堤防		眺望空間	経度	135.32895
	視対象	六甲山地を背景としたまちなみ		近景	大阪湾の水面	
				中景	御前浜公園とそれに面する建造物	
特徴				遠景	六甲山地を背景とする市街地	
<p>・六甲山地や北摂山地の山並みを背景として麓に広がる市街地を眺望できる。視点場と視対象が海に隔てられ、大阪湾と空に挟まれたまちなみが横に連なる景観を構成している。</p> <p>・甲山の麓には甲陽園目神山町周辺のまちなみが視認できる。</p>						

阪神高速湾岸線側道（西宮浜・甲子園浜間）から六甲山系を背にした市街地への眺望

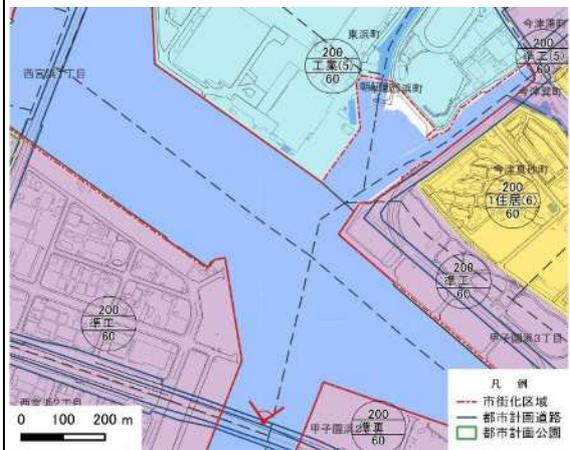
【本庁南西地域】



視点場から北側への眺望



視点場と視対象の関係



視点場周辺の拡大図

視点場所在地	緯度	34.71450
	経度	135.34157
眺望空間	近景	大阪湾の水面
	中景	臨海部の工場景観
	遠景	六甲山地を背景とする市街地

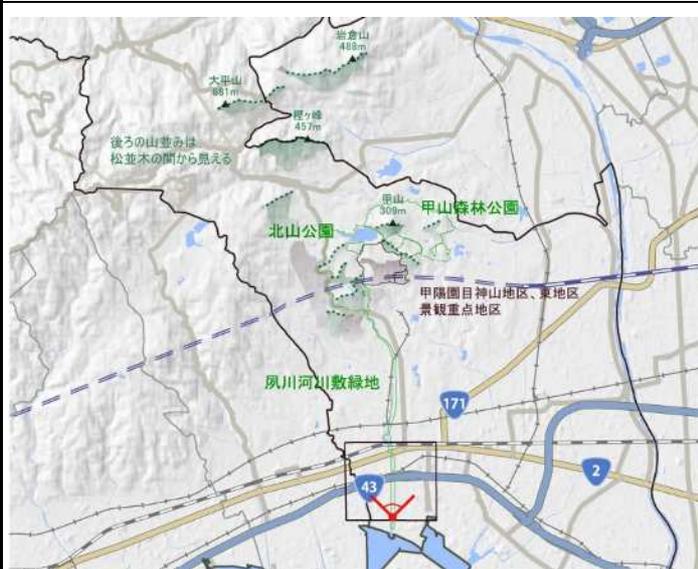
類型	パノラマ	
構成	視点場	阪神国道湾岸線側道歩道
	視対象	六甲山地を背景としたまちなみ
 <p>視点場の状態</p>		

特徴

- 六甲山地を背景としたまちなみが見える眺望点が連続している。
- 海から山に至る本市南部地域の景観の全容が一望できる。



視点場からの眺望



視点場と視対象の関係



視点場周辺の拡大図

視点場所在地	緯度	34.72721
	経度	135.32895
眺望空間	近景	夙川
	中景	夙川のマツ並木
	遠景	甲山

類型	ビスタ	
構成	視点場	浜夙川橋歩道
	視対象	夙川のマツ並木と甲山



視点場の状態

特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 夙川と夙川沿いの木々が北方向に緑の軸線を形成し、見通した先に甲山を望むことができる。</li> <li>• 趣のある意匠の葎原橋がアクセントとなっている。</li> </ul>
----	---